

## 審査講評

6者の提案は、駅前広場の屋根施設及び歩行者用通路について、加賀市の玄関口となる新幹線加賀温泉駅舎との調和や、加賀らしさをいかに表現するかについて、それぞれ独自のコンセプトやアイデアがあり、大変熟慮された提案となっていました。また、高架下の施設については、おもてなしの空間として、それぞれ個性的な提案がなされておりました。

その中で、最優秀者となった共同企業体の提案は、観光客が増える冬場の駅前広場における屋根施設及び歩行者用通路の風雪対策が具体的に示されており、実現性を高く評価しました。また、屋根施設と歩行者用通路の取り合いの部分においても利便性、機能性を高く評価しました。

次点者の提案については、特定テーマ1、2に対し、具体的な提案がなされ、実現性を高く評価したものの、加賀市としてのシンボルとなる屋根施設については、加賀市らしさの表現において、象徴性の点で最優秀者よりも評価が低かった為、次点となりました。

最後に、本プロポーザルにご参加頂いた提案者の皆様におかれましては、限られた期間の中で貴重な時間を費やし、真摯にご提案頂きましたことに敬意を表します。

平成 31 年 2 月 22 日

加賀温泉駅都市施設建設事業設計業務

プロポーザル審査委員会

委員長 山下 正純